

初戦は東洋大に決定!

一回戦の日大戦にPKの末、勝利し二回戦に駒を進めた東洋大。昨年、東京都リーグ、関東大会で優勝。2部昇格を決め、今季から2部での戦いが始まった。前期終了時点で5位としている。また大宮アルディージャと協定を結び、大宮からのスタッフ派遣や学生の練習参加などでチーム強化を図っている。DF堀口洋(3)は関東選抜Bにも選出されている実力の持



写真提供：スポーツ東洋

ち主である。格下ではあるが勢いを持つ東洋大。油断は禁物である。

総理大臣杯関東代表決定戦
過去に大臣杯3連覇を成し遂げた輝かしい実績を持つ駒大。しかし、昨年は前期リーグ戦最下位に沈む筑波大の2-1で破れ、7年ぶりに本戦出場を逃した。これまで予選突破は当然と考えられていただけに負けたら終わりのトーナメント戦の厳しさを痛感させられた。今年は昨年の悔しさをばね総理大臣杯への切符を掴むことができるのか!?

絶対負けられない戦い! 大阪・夏の陣へ



Next Preview

2戦目の相手は神大!? 東海大!?

初戦の東洋大戦に勝利すると、東海大対神大の勝者といよいよ大臣杯への切符を賭けた争いとなる。ホームの利を生かして戦える東海大は、現在2部リーグ3位。昨年の1部在籍時には駒大とも対戦しており、後期の対戦では6-0と大勝したが、前期は2-2の引き分け。トリッキーパーナプレーを駆使するエース・川島大地は現在離脱中だが、前述の駒大戦でゴールを決めている大型FW佐藤晃大が前期リーグを通して好調を維持している。

一方の神大は1部9位。駒大と同じような縦に早いサッカーを志向し、加えて下位ながら総失点は13と駒大より5点も少ない。攻撃面はエースの三平和司に注目。湘南ベルマーレ強化指定選手の肩書きを持ち、秋田監督も全日本大学選抜に選出した逸材。前回の対戦こそ2-0と勝利しているが、三平は欠場していた。今度こそエースを擁して戻ってくる攻撃陣には注意したい。

強力FWを抱えるという共通点を持つ両チーム。どちらが来るにせよ高い目標を見据えれば、この大一番で完封に抑えることが本戦にむけて自信につながるはずだ。



V S



Dブロック組合わせ

第一試合 11:30

第二試合 13:50

